

社会教育委員の会議 会議概要

- 1 審議会名 令和4年度第2回安曇野市社会教育委員の会議
- 2 日 時 令和4年11月21日(月) 午後3時から5時まで
- 3 会 場 安曇野市役所 本庁舎大会議室
- 4 出席者 猿田みさ子委員(議長)、丸山明男委員(副議長)、高橋みち子委員、鳥羽将司委員、赤羽敦子委員、荻原義重委員、筒井年恵委員、柿本豊委員、池田安宏委員、伊藤政江委員、浅見郁子委員、三澤正彦委員
- 5 市側出席者 矢口教育部長、生涯学習課深澤課長、文化課山下課長、生涯学習課遠藤係長、子ども家庭支援課古畑係長、生涯学習課財津係長、生涯学習課小松係長、生涯学習課小穴係長、生涯学習課濱係長、文化課三澤係長、文化課逸見係長、文化課奈良澤係長、生涯学習課小笠原
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和4年11月30日

協 議 事 項 等

会議概要

- 1 開 会 生涯学習課深澤課長
- 2 あいさつ 猿田議長、矢口教育部長
- 3 協議事項  
(1)令和5年度事業計画(案)  
(2)第2次安曇野市生涯学習推進計画の中間見直しについて  
(3)その他
- 4 閉 会 丸山副議長

協議事項

- (1) 令和5年度事業計画(案)《説明：生涯学習課》

【委員】

豊科公民館事業にワンバウンドふらばーるバレーボールの講座があり、市内リーグ戦とあるが、他の地域では、ふらばーるバレーの事業計画がない。リーグ戦ができるのか。

堀金公民館の地域事業に地域学校協働本部連絡会が入っているが、他の公民館では全市的事业に入っているが、どうしてなのか。

二十歳の集いの開催場所は正式名称のANCアリーナでお願いしたい。

【事務局】

ワンバウンドふらばーるバレーボールは、豊科限定ということではないが、豊科が中心になってやっている。

【委員】

他の地域はどこでやっているのか。

【事務局】

スポーツ推進員が中心になってやっていて、各地域でやっている。

【委員】

他の地域との横のつながりはないのか。具体的な事業計画には載っていないが、それぞれやっているということか。

【事務局】

日頃は各地域で自由にやっていただいている、年に1度集まってリーグ戦をしている。

【事務局】

堀金地域関係者で構成しているため、地域学校協働本部連絡会を地域事業に載せた。

【事務局】

コミュニティスクール事業は全市的にやっている事業であるので、全市的事业に変更したい。

【委員】

穂高公民館の学校探訪コミュニティスクール講座とはどういうものか。

【事務局】

コミュニティスクール関係者が直接学校に赴いて講座を行う予定であるが、実際に何をやるかはまだ決まっていない。

【委員】

公民館の事業にコミュニティスクール事業が入ることの根本的な説明がほしい。

地域事業と全市的事業の線引きはどこでされているのか。

【事務局】

コミュニティスクール事業には、地域と共にある学校づくり、学校を核とした地域づくりという2つの目的がある。学校を核とした地域づくりを目指した機能として地域学校協働本部連絡会が動いている。もう一つの組織として地域教育関係者連絡会があり地域コーディネーターが橋渡しをしているが、サポーターとして公民館長が会議を開催している。

地域事業は地域に根ざしたもの、全市的事業は地域に捕らわれず開催するものである。

【委員】

社会教育委員に委嘱されているが、委嘱と任命にはどんな違いがあるのか。

【事務局】

組織内部で職を任せる時に任命、外部の方に職を任せる時に委嘱をしている。

【委員】

私は地域学校協働本部連絡会委員は任命、社会教育委員は委嘱であるが、どうしてか。

【事務局】

各種規則、要綱等で任命、委嘱について定めているが、協働本部連絡会委員の任命については、学校教育課に確認する。

【委員】

社会教育委員と教育委員の合同会議が必要ではないかと思っている。年1回は合同会議を設定してもらえないか。

社会教育委員のネームプレートを作ってほしい。前々からお願いしているので、ぜひ来年度は作ってほしい。

【事務局】

社会教育法には社会教育委員は教育委員会の会議に出席して意見を述べるができることあるので、学校教育課と相談、検討したい。

ネームプレートについては、今年度中に作成させていただく。

【委員】

市長肝いりで小説「安曇野」を10年かけて大河ドラマ化したいとの案がだされている。これをどのように地域に反映させて学んでいくかということだが、安曇野アカデミー以外に各地域公民館の計画に載っていないのは残念である。できれば来年度から事業として取り上げて欲しい。

【事務局】

内部で検討し、なるべく反映できるようにしたい。

【委員】

人権共生課との連携事業について何かあるのか。

人権教育指導員の条件として、健康、活動的、地域の信頼などがあるが、特に健康について条件に入るのは疑問がある。条件の見直しが必要ではないか。

学社連携人権啓発事業に地区公民館人権学習会支援などが入っているので、「学社連携」の後に「・」が必要ではないか。

【事務局】

来年度「人権啓発事業計画」を見直す中で、人権共生課との連携を考えていきたい。

人権教育指導員規則に謳っていることは、心身ともに健康なことであると思う。

【委員】

職員の採用試験でも採用した後で健康診断をするので、これは見直した方が良いと思う。

【事務局】

ご意見として伺っておく。

【委員】

今年度の事業が3分の2終わった時点で来年度の事業計画を立案しなければならないのは、予算の関係でこない早いのか。

今不登校の子どもがすごく増えている。特に長野県は不登校の子どもが多い。このような状況でコミュニティスクール事業が果たす役割は大きい。この事業では課題解決を目指すことになっているが、非常に難しい面があるので5公民館が連携して進めてほしい。

【事務局】

事業計画については予算の関係で早くなっている。

コミュニティスクール事業については5地域で連絡を取り合っている。課題解決は簡単なことではないが、連携して進めていきたい。

【議長】

浅見委員の意見やネームプレートの件もそうだが、社会教育委員としての責任を果たしたい、自覚を持ちたいという思いが強いと思う。ぜひ社会教育委員が責任を持って活動できるよう対応してほしい。

**【委員】**

補足であるが、明科では毎年区長・地区公民館役員合同研修会を開いている。コミュニティスクール事業は地域を上げて協力していくことが大切である。区長の仕事も大変であるが、ぜひ区の活動の中にも子どもたちが健全に育つ地域力を高めていくことを位置付けてほしい。

**【事務局】**

今年度はコロナ禍でこの研修会は中止となっている。今後は再開して続けていきたい。

**【議長】**

コミュニティスクールの会議に出席した際に不登校について発言してみた。その時図書館でスクールのようなものを開催したらどうかという意見がでた。アンケートを取ったところ、参加者が少ないということで、只今検討中ということであった。今後不登校対応を進めていただきたい。

**【委員】**

総合計画の5つの柱の中に「文化・芸術中核都市の実現」と「アウトドア・スポーツの聖地」があるが、今回の事業計画案の中でこれを反映しているものがあれば、お聞きしたい。

例えば、豊科公民館の「第2回とよしなdeロゲイニング」はアウトドア・スポーツの聖地に繋がっていくのかと勝手に想像している。

**【事務局】**

生涯学習課では、地域文化祭、総合芸術展、芸能フェスティバルなどが芸術文化事業であると考えている。

**【事務局】**

東京藝術大学交流事業がこれにあたる。今年度始めた東京藝術大学安曇野AIRであるが、東京藝術大学出身の若手芸術家が市内に滞在し制作を行うと共に市民と交流するという事業である。今年度は鑄金の柴田さんが明科を中心に活動され、みらいで展示を行った。来年度は拡大して進めていきたい。

また、藝大生が中学校の吹奏楽の指導を行う事業も続けていきたい。コンサートも続けていきたい。

**【委員】**

スポーツ指導者講習会について、安曇野市スポーツ協会、スポーツ少年団を含めてどのくらいのバックアップ体制があるのか。

**【委員】**

児童館運営事業について、他の自治体では児童クラブに6年生まで入れるようになってきているところがあるが、本市の状況はどうなっているのか。指定管理者のご苦労があると思うが、差しさわりのない程度で状況を伺いたい。

地域の人材を確保することが課題になっていると思うが、放課後子ども教室の状況も教えていただきたい。

**【事務局】**

本市における現在の児童クラブの受け入れ状況は一部を除いて4年生までとなっている。具体的には穂高北小、堀金小児童クラブは6年生まで受け入れており、三郷小は長期休みのみ5年生まで受け入れている。施設の整備を行いながら順次受け入れを拡大していくよう努めている。なるべく学校施設を使うように考えている。指定管理者とは情報共有し、計画を早めに伝え、人材確保するようにしている。

放課後子ども教室のスタッフは現在不足しており課題となっている。今後も保護者や地域に呼び掛けていく。

**【議長】**

今年度は堀金地域で運動会、豊科地域で運動会に代わる事業が行われたが、どのように実施したのか教えてほしい。

**【事務局】**

代わりの競技としてロゲイニングを行った。運動会は実行委員会を組織して行っていたが、ロゲイニングはそれ程人手が必要ないということで実行委員会は組織しなかった。スタート、ゴールをANCアリーナにして、半径10km以内の場所にチェックポイントを設けた。運動会は人集めが大変だということで、今回は動員を行わず、参加者集めには地区へのチラシの回覧をお願いした。ファミリーと一般の部で合わせて88人に参加していただいた。当日は公民館職員、ロゲイニングの会社スタッフ、スポーツ推進員、サポート委員総勢15人で運営し、午前中で終了した。

**【事務局】**

堀金地域の運動会は例年より競技種目を少なくした。激しい運動を止め、午前中だけで終わるようにした。縮小はしたが300人弱の参加があった。ぜひ来年も続けていきたい。

**【委員】**

市誌編さん事業は令和2年から始まり15年くらいかけて10から12巻の資料を作ることであるが、十数万円する資料を果たして購入してくれる人がいるのだろうか。安曇野市誌は、生涯学習の資料

として市民に活用してもらうために、中学生が読める程度に分かりやすく親しみやすいものにするとしているが、昔の町誌などは字が細かく難しかった。中学生が読める程度という字も大きくなりかなり膨大なものになるとともに、社会情勢の変化で人口も減ってくるが、15年かけて作る必要があるのか。また、子ども版も作るということであるが、更に編さん委員の負担が増えるのではないのか。

【事務局】

編さん委員の中で話し合っ紙ベースのものは作らず、電子データ化して必要な部分を市民の方に使っていただく予定である。現在は民俗編を作成して、この秋から歴史編の原始・古代がスタートする。子ども版の編さんには学校の教諭の方にも入っていただいて、授業に活用できるものを目指している。旧5町村誌も当初は中学生レベルを目標としてスタートしたが、辞書を引かなければ分からない非常に難しい内容になっている。新しいものはその部分をなんとか解消しようと考えている。

【議長】

本日発言されていない担当者の方に一言ずつお願いしたい。

【事務局】

旧5町村で各町村誌が作られていたが、分かりづらいとの意見もあった。編さんから30年以上経ったものもあり、捉え方が変わってきたものもある。博物館、文書館の講座などで新しい発見を市民の皆さんに還元していく活動を続けていきたい。市誌を作るだけでなく、広報のコラムで連載も始めている。

【事務局】

小説「安曇野」を盛り上げるために図書館ができることをやっていきたい。デジとしょ信州に登録していただき、電子図書館も活用していただきたい。

## (2)第2次安曇野市生涯学習推進計画の中間見直し《説明：生涯学習課》

【委員】

前回の意見が反映されてスポーツの部分の記載が多くなったが、他と比べてボリュームが多くなったのではないかと感じる。

【事務局】

全部ではないができるものは反映させていただいた。

【委員】

利用満足度の高い施設運営という項目の中の施設環境の整備欄で0%という表示があるが、なぜか。

【事務局】

その表については現在作成中ということで、12月中にもう一度会議を設けたいと考えている。

【委員】

人権と共生に重点を置いていることが分かる。市民が求めていなくても重要なことは大事にしてほしい。妨げ要因への対応という項目に、子どもの読書活動の推進の項目が入っていることが疑問に思う。

【事務局】

総合計画を作る際に取り上げた項目を参考にしている。重要度、満足度が低いものでもおろそかにできないものがある。誰もが活躍する共生社会も項目に挙げている。

子どもの読書活動の推進については、子どもの読書環境を整えることで読書への意欲や習慣づけの後押しをする考えである。更に様々な子どもたちに対応するため、活字が容易に読める資料の収集と提供が妨げ要因を取り除くことであると捉えている。

【委員】

託児サービスの提供について、どうして登録しなければ、託児ができないのか教えてほしい。

【事務局】

ひとつは傷害保険の適用をするため、もうひとつはサービスを提供する会員の皆さんがファミリーサポートに登録しているためである。

【議長】

防災啓発活動の支援について、以前から課題に上がっているが、防災無線が聞き取りにくいので改善をお願いしたい。防災アドバイザー、地域の防災組織、消防団を活用して、防災活動を進めてほしい。

【委員】

防災ラジオの活用を考えた方が良い。

【委員】

資料の字が小さくて読みにくいので、読み易くしてほしい。

【事務局】

検討させていただく。

【委員】

ANCアリーナは観覧席が少ないので、全国規模の大会を持つことができない。もっと席数があれば良かった。

【委員】

国民スポーツ大会がこれから開かれると思うが、それに向けての準備はどうなっているのか。

**【事務局】**

各種通知や視察の通知も来ていたので、準備もなされていると考えている。

**【委員】**

市民サポートセンターの充実について、資料の中に「市民サポートセンターの環境を整える」という文言を入れてほしい。成果の指標のところ、登録団体数だけでなく地域の特色を生かした取り組み内容を加えていただきたい。

**【事務局】**

「市民サポートセンターの環境を整える」については入れるようにする。指標については、数字で表しているが、内容と結びつけることができないうか検討してみる。

**【委員】**

スポーツ教室のことだが、障がいのある方のスポーツ大会、障がいがある人との交流なども考えていただきたい。

**【事務局】**

ここの部分が膨らんでいるので、記載の方は難しいと思うが、担当には伝える。

(3) その他

**【事務局】**

計画策定にあたって施策の指標を記載した方が良いとの庁内から意見があったので、数字を示して12月にもう一度会議へ諮りたい。

**【委員】**

毎年11月頃に社会教育委員の研修会が行われていたが、今年はコロナの関係で開催しないのか。

**【事務局】**

前回の社会教育委員の会議と研修会が重なってしまい、議長と事務局で途中まで参加した。